



## 新春のご挨拶

公益財団法人富山県アイバンク理事長 木村 正明

皆様、明けましておめでとうございます。富山県アイバンク理事長として、心よりお祝い申し上げます。

この度の能登半島大地震において、被災された皆さまに深くお見舞い申し上げます。おそらく無力感や不安、悲しみが心を覆っていることでしょう。私共アイバンクとしても、一日も早い復興を心よりお祈りしております。

昨年はウイズコロナからアフターコロナに転換しつつある試練の一年でしたが、皆様のご協力とご支援により、富山県アイバンクは何とか成果を上げることが出来ました。心より感謝申し上げます。

昨年、富山県において新規献眼登録者数は39名、献眼者は17名あり34名の方が光を取り戻すことが出来ました。

現在、全国で約2,000人、富山県では25人の方が移植を待っておられます。このような状況下で、「愛の光の贈りもの」が出来るように更なる啓発活動を推進していく所存です。

アイバンクの事業は、私共が世界に誇る至高の奉仕活動であり、県民の皆様、ライオンズクラブの会員とともに、強く推し進めて行きたいと思っています。

倍旧のご協力をお願い申し上げ、新春のご挨拶といたします。



令和6年1月吉日

### アイバンクだより29号発行と啓発ポスター発行のご案内

広報委員会PR部会にて作業を進めていた「アイバンクだより第29号」並びに啓発ポスターを発行いたしました。すでにお手元に届いているかと存じます。ご家族で一読いただき、啓発ポスターにつきましては各企業、施設などにて掲示いただければと存じます。



## 3名の方から献眼いただきました。

- ☆去る12月1日、富山市の70歳代の男性の方より献眼されました。ご家族の申し出からの献眼でした。家族葬の為、参列は控えさせていただきました。
- ☆去る12月13日、立山町の70歳代の男性の方より献眼。ご家族からの申し出からの献眼でした。家族葬の為、参列は控えさせていただきました。
- ☆去る12月15日、神奈川県60歳代の男性の方より献眼いただきました。臓器意思表示カードにて意思表示されておられた方で、ご本人の意思を尊重しての献眼でした。遠方の為、参列は控えさせていただきました。アイバンクからは感謝状を郵送させていただきました。

## 本当にありがとうございました

## 北日本新聞に掲載されました

去る12月6日、北日本新聞社から取材依頼があり木村理事長の記事が掲載されました(発刊日：2023/12/10)、新聞閲覧者から献眼登録いただきました。



## 富山赤十字病院にてミニレクチャー

去る12月6日、富山赤十字病院の移植講演会にて「献眼について～献眼の連絡から摘出までの流れ～」と題し事務局 岡田が講演を行いました。病院長はじめ、多くの病院スタッフの方々がご参加してくださいました。



## 高岡市民病院にてミニレクチャー

去る12月13日、高岡市民病院の移植講演会にて「献眼について～献眼の連絡から摘出までの流れ～」と題し事務局 岡田が講演を行いました。実際の流れを想定し、院内コーディネーターの町野さんと共にシュミレーションを行いました。献眼について意識を高めて頂ければと思います。



## 北日本新聞に掲載されました

去る12月18日、北日本新聞社から木村理事長も取材の後、コーディネーターへの取材依頼があり、事務局 岡田の記事が掲載されました(発刊日：2023/12/20)



## 寄附金・賛助会費・募金に関するご報告 (12/1～12/31まで)敬称略

### 寄附金

(個人) <敬称略>  
 小寺千春・・・20,000円  
 屋根慎二・・・5,000円  
 島村延見子・・・3,000円

### 賛助会費

(法人)  
 東光運輸株式会社  
 丸進商事株式会社  
 北陸エンジニアプラスチック株式会社  
 富山セントラルライオンズクラブ

(個人)  
 鳥山 博、青木英勝、笹島康隆、渡邊一三、堀 巖、増井 修、  
 山崎泰邦、竹本 毅、戸澤秀行、上野弘喜、中山貴弘、堀津良志  
 匿名(2人)

### 《12月の事業実績の概要》

・ 献眼登録者数	3名
年度累計	26名
・ 献眼者数	3名
年度累計	11名
・ 富山県助成金	0円
・ 奉仕銀行助成金	0円
年度累計	2,850,000円
・ 寄附金収入	28,000円
年度累計	1,058,500円
・ 賛助会費収入	82,000円
年度累計	744,500円
・ 募金収入	0円
年度累計	131,905円
<b>[寄附金等収入合計]年度累計合計</b>	<b>4,784,905円</b>